

理 科

◆6 年 雙葉プログラム

中一	中二	中三	高 1	高 2	高 3
●動植物の特徴、分類 ●火山、地震、地層 ●水溶液、気体、状態変化 ●光・音・力 平均して週 1 回は実験を実施し、実験結果からの考察をさせる。 知識の定着が必要な単元では、小テストを実施。	●化学反応 ●電磁気 ●動植物のからだのしくみ ●気象 ●高校化学 平均して週 1 回は実験を実施し、実験結果からの考察をさせる。 知識の定着が必要な単元では、小テストを実施。	●イオン ●運動とエネルギー ●遺伝・発生 ●天体 ●高校化学 平均して週 1 回は実験を実施し、実験結果からの考察をさせる。 知識の定着が必要な単元では、小テストを実施。	●生物基礎 ●化学基礎	●地学基礎 ●物理 ●化学 ●生物 ●長期休暇の講習 【文Ⅱ看護系】 ●化学基礎 ●生物基礎 高 1 次の復習をし、基礎演習をグループワークを通して行う。	●物理 ●化学 ●生物 ●長期休暇の講習 入試に向けた問題演習だけでなく、実験等も行いながら深い考察力を養う。
必修	必修	必修	必修	地学基礎または物理基礎のみ必修	

◆中学チャレンジプログラム（POINT となる活動）

○中一 夏休みの自宅での実験

（食塩の溶解や食塩水の水の蒸発を観察する実験を行い、夏休み後に考察をする。）
 元素記号を覚えよう

（中二で扱う元素周期表を中一で扱い、粒子の概念を早めに持たせることにより、化学現象のとらえ方、考え方の幅を広げる）

○中二 「周期表とイオンの関係」のポスター作製（イオンの学習を始める前に）

気象観測データの分析

（沖縄の気候の学習を取り入れ、沖縄体験学習への興味関心を高める）

○中三 植物（ゴーヤなどの沖縄らしい野菜）を育てる。

（植物の生育を観察するとともに、沖縄体験学習への興味関心を高める）
 外来種・生物多様性を調べる。

その他 静岡防災センターへの訪問（中一理科Ⅱ、防災教育、いのちの教育）

ふじのくに自然環境史ミュージアムへの訪問

体験に基づいて密度をとらえられるような授業、計算演習